

空調用の冷温水を制御するための、流量計測機能を持った制御弁です。

- ・空調機、ファンコイル、熱交換器等の冷温水制御に使用します。
- ・15A～150A まで12機種用意しています。
- ・流量制御ができます、設計流量に応じた最大流量を設定できます。
- ・ハンディ設定器（計測表示、最大流量設定）があります。
- ・ゼロ～設定最大流量の間で制御信号に応じた制御流量を保持します。
- ・配管の圧力変動（制御弁入口側の圧力変動）の影響を受けません。
- ・動作特性（リニア）または（イコールパーセント）を設定できます。
- ・計測流量値を外部へ出力することができます。
- ・設置後、流量調整（配管系統バランス調節など）は必要ありません。
- ・BACnet MS/TP Modbus RTU 通信機能をもった機種があります。
- ・停電時一定時間後（1～10秒）に設定された開度にできる機種があります。
- ・復電時には数秒で自動制御状態に復帰します。



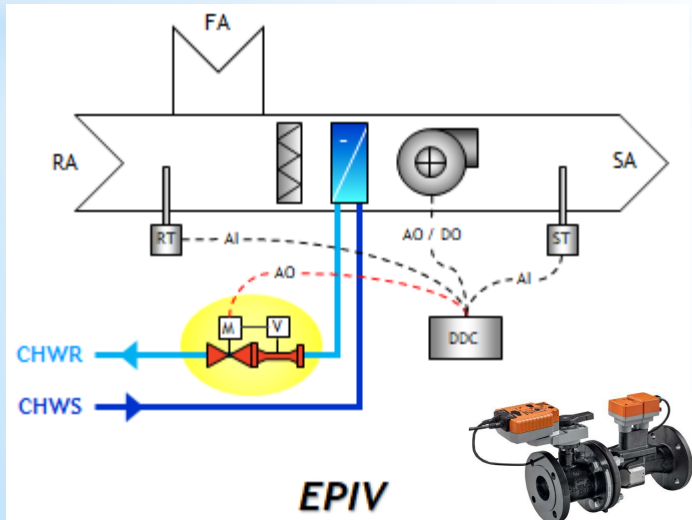
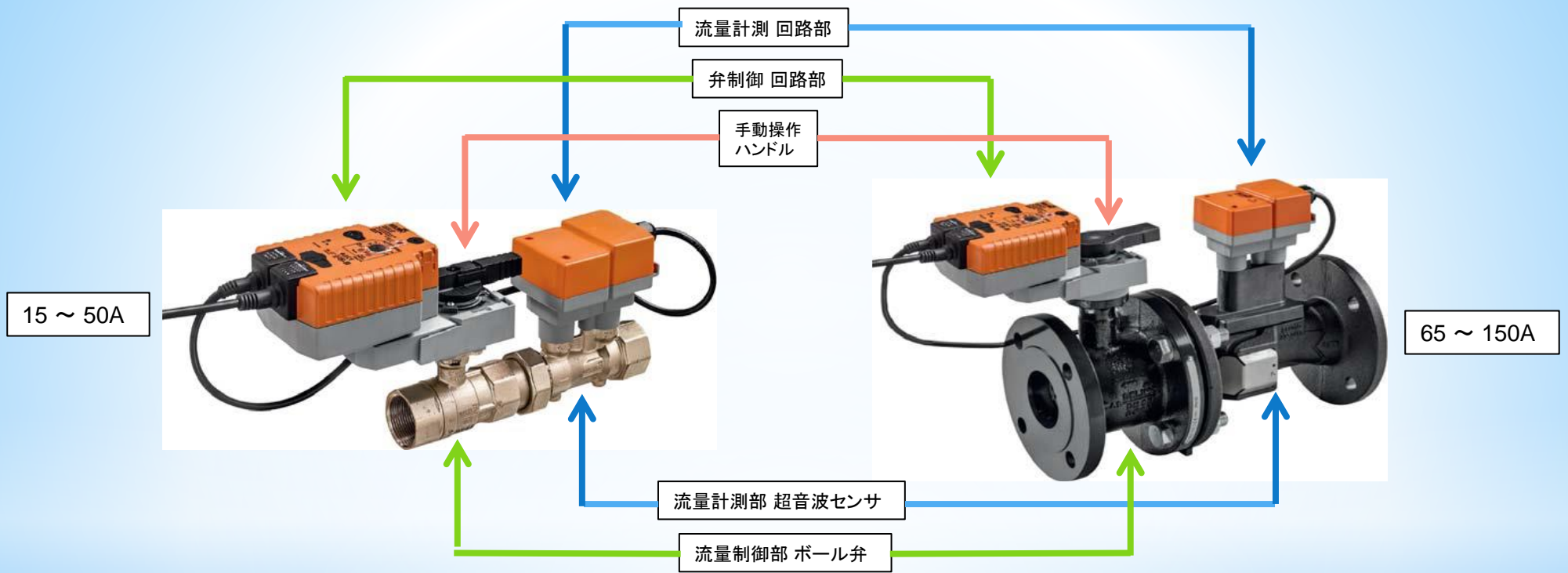
**選定が簡単です。
定格最大流量で選定します。**



**設置後の流量バランス調整など
必要ありません。**



制御流量の見える化を実現します。



EPIV は超音波式流量計測部 および ボール弁流量制御部より構成された製品です。

15~50A はねじ込みタイプ、65~150A はフランジタイプです。

なおフランジ規格はEN規格です、配管側合フランジが付属します。

超音波による流量計測は精度が高く長期安定した計測ができます。



ボール弁はバルブ・タイト・シールによりリークがありません。

空調機コイル配管への設置例です、返り側配管に設置します。

流量計測部が上流側になります。

設置条件については、配管取付概要を参照ください。

EPIV 2機種 型式一覧

製品写真	型式	口径	電源	定格流量 V^{nom}		設定可能な最大流量	配管接続	概算重量 kg
				(L/min)	(m^3/h)	V^{max} (m^3/h)		
	EP015R + □□□	15	AC/DC24V	21	1.26	0.38 … 1.26	15A メネジ	3.3
	EP020R + □□□	20	AC/DC24V	39	2.34	0.71 … 2.34	20A メネジ	3.9
	EP025R + □□□	25	AC/DC24V	69	4.14	1.25 … 4.14	25A メネジ	3.9
	EP032R + □□□	32	AC/DC24V	108	6.48	1.95 … 6.48	32A メネジ	4.9
	EP040R + □□□	40	AC/DC24V	150	9.00	2.7 … 9.0	40A メネジ	5.6
	EP050R + □□□	50	AC/DC24V	288	17.28	5.19 … 17.28	50A メネジ	5.8
	EP050R + □□□-N	50	AC/DC24V	378	22.68	6.81 … 22.68	50A メネジ	5.8
	EP065F + □□□	65	AC/DC24V	480	28.8	8.7 … 28.8	65A ISO フランジ	26.0
	EP080F + □□□	80	AC/DC24V	660	39.6	11.9 … 39.6	80A ISO フランジ	32.0
	EP100F + □□□	100	AC/DC24V	1200	72.0	21.6 … 72.0	100A ISO フランジ	46.0
	EP125F + □□□	125	AC/DC24V	1860	111.6	33.5 … 111.6	125A ISO フランジ	55.0
	EP150F + □□□	150	AC/DC24V	2700	162.0	48.6 … 162.0	150A ISO フランジ	77.0

□□□ = KMP : 通信 (MP-Bus のみ)、フェールセーフ機能付き

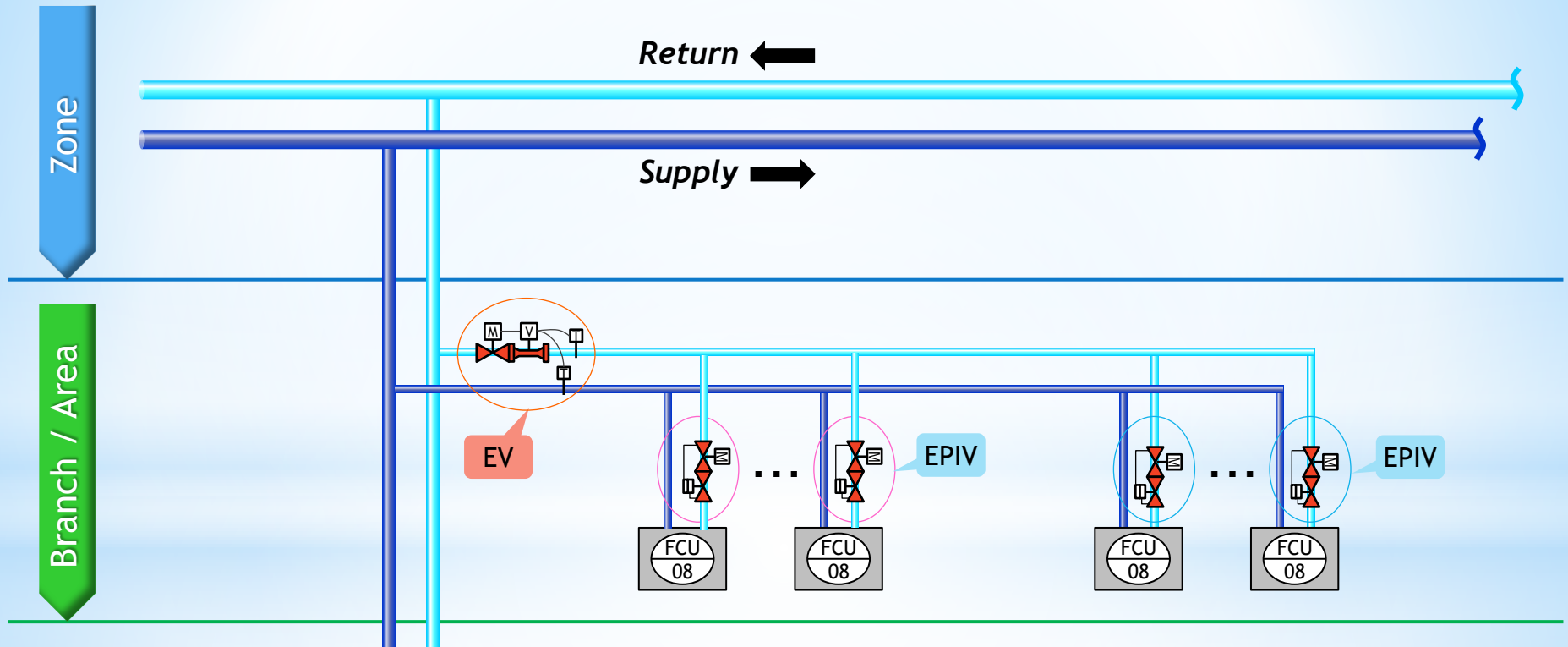
□□□ = MOD : 通信 (BACnet MS/TP) (Modbus RTU) (MP-Bus)、フェールセーフ機能無し

フェールセーフ機能 = 停電時に設定された開度へ動作



原産国: スイス RoHS2指令対応 CEマーク付き

EPIV 設置例



EV : Energy Valve



EPIV

分岐配管の元に Energy Valve を設置することにより、分岐配管システム毎の流量および熱量管理が可能になります。例えば1台のコントローラに各FCUの流量計測値のデータを取り込むことにより、元の Energy Valve の流量制限制御なども可能になります。

ローカル・エリアの各FCUにEPIVを使用することにより、リバース・レターン配管にせよとも各FCUの流量制御が確実に可能になります、試運転調節時の流量バランス調整も不要です。各EPIVを通信で接続すれば、各FCUの使用流量の見える化管理が可能となります。

EPIV 設定

EPIVは使用に際して基本的なパラメータ設定が必要です。
パラメータ設定はBELIMO社のソフトウェアPC-TOOLを使用し行います。
PC-TOOLはBELIMOホームページよりダウンロード(無償です)することができます。
PCをEPIVに接続する際にサービス・ツールZTH-APが必要になります、サービスツールは別途お求めください。
サービスツールのみでも一部のパラメータの設定および計測値表示が可能です。

接続方法

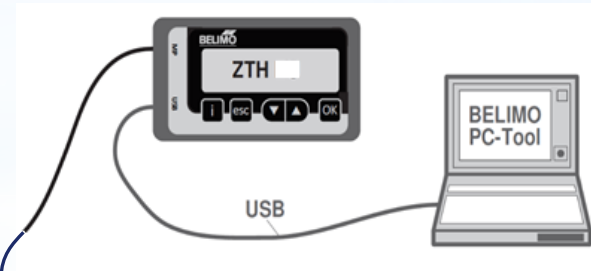
EPIVに電源がかかっていることを確認します。
EPIVのバルブアクチュエータ上部にある黒いゴムカバーを開き ZTH-AP のケーブルを接続します、ケーブル先端は下の図のようなコネクタになっているのでコネクタの凹部分をソケットの凸部分に合わせ差し込み、45° 時計回りに回すと接続されます。

ZTH付属ケーブル
コネクタ先端部



EPIV に接続できると ZTH-AP の表示部に
初期表示後、EPIV の型式が表示されます。
ソフトウェア PC-TOOL を立ち上げます。

ZTH-AP 設定器



汎用 PC
ソフトウェア PC-TOOL
TOOL はグラフィック形式の
分かりやすい簡単な画面です。



EPIV

ZTH-AP のみでの操作も可能です。
操作方法は別の説明書を参照ください。
基本的に、計測データの表示と最大流量の設定、通信
仕様(BACnet) (Modbus) の設定ができます。



ご用命は



アーチバック株式会社

〒211-0012

神奈川県川崎市中原区中丸子174番地

TEL:044-455-9112

<https://www.archvac.co.jp>

